

# グループの変化

仲良しグループができてからは、休み時間やトイレ、昼食など一緒に過ごす時間が長くなりました。本当にすごく楽しい時間でした。高校1年生で入学してそれほど時間が経っていませんでした。「どこから来ているのか」「中学生のときはどのようなことをしていたのか」「好きなこと」「クラスの中にタイプの女子がいるか」などを話して、あとは一緒に過ごしながら何気ない話しをする。ポーっとしながら何気ない話しができる友達がいることは嬉しかったです。高校が田舎で自然が多く、ゲームセンターやカラオケなど遊べる場所がなかったので一緒にいてただただ話す。ときには、仲良し女子グループも加わったりして学校が終わったら教室に残ったり、川辺や芝生のあるところに行ってそのとき話題になっていることやどんな悪さをやったことがあるのかを話す。今、こう書いていて「あのときは本当に楽しい時間だったな。話題が尽きなかった」と思えます。

しかし、「どんな悪さをやったのか」について話すことになると仲良しグループのパワーバランスが変わり、最終的に私が入っているグループは「悪さをしてきたこと」「悪さをすること」に焦点化されていったのです。タバコを吸ってるか、根性焼きをしたことがあるか、シンナーを吸ったことがあるか、酒を飲んだことがあるか、チューハイじゃなくてビールが飲めるか、補導されたことがあるか、知り合いの警察官がいるか、ケンカをしたことがあるか、オールをしたことがあるか、知り合いにヤクザがいるかなどを聞かれてすべてやったことがあり、ケンカが強く人柄もそこまで悪いとは感じさせないAがグループ内でトップになりました。ここで変化が生じます。Aにケンカの方法を教えてもらい仲間内で同じようなケンカを試してみたり、酒やたばこに手を出したりオールすることが日常茶飯事となるグループになっていったのです。Aがトップにいてその下に私とB、その下にC、D、Eがいる3層構造の上下関係が厳しいグループになりました。本当にあっという間にこんなにもグループのパワーバランスが変わるのかと強く思いました。Aの行動は日に日に荒れてきて

通りすぎるときには私や他の生徒を殴ったり、授業中にずっと話していて職員室に呼び出されたり、他のクラスの人から金をもらったりするようになります。それに何とか従っている B。この 2 人は、お金のことで後に 1 か月間の停学になりました。

停学期間中にどうにかしてグループから離れることができないか C, D, E が私のところに相談に来たことがありました。当然、私も精神的にきつかったのでグループ解散、A と B、特に A とは付き合わないことを希望して話し合います。けれども、うまくいく策はありませんでした。というのも、私を含め 4 人は A の近くの席だったので休み時間などは自然と A が絡んでくるからです。とりあえず、停学期間中は 4 人で無理して一緒にいることなどはやめて好きなように過ごそう、新しい友達を作っていこうということになりました。1 か月間は、本当にストレスフリーな人間関係だったなと思っています。そして、勉強が意外と好きなことにも気づいた時期だったのです。

しかしながら、A と B の停学期間が終わると…。ここから本当におそろしいグループになり、私は精神的に追い詰められるようになります。

つづく